

児童発達支援「キッズすてっぷわかば」評価結果

改善内容・改善目標

公表：令和 年 月 日

	チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか 事業所自体が多少手狭なため、現在の子どもの状況に合わせ各スペースを調整しながら適切な指導スペースの確保に努める。
	2	職員の配置数は適切であるか 基準を満たす配置は行っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか 事業所内はフラットだがトイレの高さがあり段差のある踏み台を設けえるなどの配慮を検討している。静の活動、動の活動でエリアを分け、わかりやすくなるよう配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか 子ども達が自立して遊べる工夫や配慮を心掛け、快適に過ごせる様に視覚的支援や、清潔を保つため整理整頓、清掃、消毒業務を徹底している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか 充分ではないがチームとして業務改善に取り組むべく目標を考え日々の振り返りを行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか 保護者向けアンケートを実施し業務改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか 事業所のホームページで掲載が予定されている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 第三者の評価を頂き業務改善する体制がある。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか 社内、社外の研修に参加する機会を設けており、オンライン研修にも多々参加している。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか 障がい児通所支援計画をベースに、見学や体験で来所された際には、保護者の方から直接聞き取りを行い、子どもの課題、ニーズを客観的にとらえ、立案に努めている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか 活用を検討している。

適切な支援提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	実施している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	実施している。また、ニーズの変化がある際には見直しを行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	実施している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	実施している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	実施している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	実施している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	実施している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	実施している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	実施している。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	参画している。必要に応じてこちらから開催を依頼し呼びかけている。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	実施している。	

関係機関や保護者との連携

23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	医療的ケアが必要な児童の利用はなし。今後利用になる方で必要になる場合があれば体制を整えていく。
24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	医療的ケアが必要な児童の利用はなし。服薬が必要な場合は投薬依頼書を記入し提出して頂いている。
25	移行支援として保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	必要に応じ、園での様子やこちらの様子などの情報交換を行っている。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	実績はないが今後対象になる児童がいらっしゃるので実施していく。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	子ども発達支援センターなどの専門機関に助言や情報を求めたり、情報提供を行い連携が取れている。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	保育園や幼稚園の児童と一緒に活動する機会はないが、チャンスがあれば検討したい。
29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	交流の機会なし。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	連絡帳や送迎時に口頭で伝達するよう努めており、活動の様子を保護者閲覧用のブログサイトに活動の様子を投稿している。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	相談があった際は親身に対応するよう努めている。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	以前は法人内で保護者会等を開き実施していたがコロナ禍でオープンしたので実施したことはないが、状況が落ち着いたら実施していきたいと思っている。

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	支援目標の説明、ニーズとのずれがないかの確認を行いながら同意を得るように心掛けている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	相談があった際は親身に対応するよう努めている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	以前は法人内で保護者会等を開き実施していたがコロナ禍でオープンしたので実施したことはないが、状況が落ち着いたら実施していきたいと思っている。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	法人の縦横の連携を強化し、体制の整備等を迅速に行い、子どもや保護者に周知し、誠意を持ち対応することを心掛けている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	事業所ブログや行事予定表などのお便りを発行し、活動内容の様子をお伝えし、次月の行事や活動が確認できるようにしている。また、LINEを導入し、ご家族の方と密に連絡がとれるようにしている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	慎重に対応している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	必要に応じて、絵カードや筆談等、言語以外のコミュニケーションツールの活用も対応していく。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	今後検討していく。	
	非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	実施している。
		42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	実施している。
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	契約時に確認を行うようにしている。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	契約時に確認を行うようにしている。	

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ファイリングして職員が日頃から振り替えられる様にしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	職員が研修に参加し、持ち帰った情報を共有し虐待防止に努めている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	強度行動障害支援者養成研修や虐待防止研修などの参加をしており、身体拘束が必要な場合は計画への記入や事前説明を行う準備はある。